

コロンビアの最新動向(7月16日~7月31日)

I. 政治・経済

1. 2007年の予算支出を1.15兆ペソ(約5.9億ドル)削減

- 7月17日、政府は2007年度の国家予算支出を全体の約1%に相当する1.15兆ペソ(約5.9億ドル)削減し、116.45兆ペソとする計画を発表した。
- 削減の対象となったのは、投資(△3.6%)、国内債務返済(△0.4%)、オペレーション¹(△0.4%)の各項目。
- 今回の予算支出の見直しにより、2007年度の財政赤字は3.5%から3.3%(対GDP比)に縮小、プライマリー・サープラス(利払費を除く財政収支)は0.8%から1%(同比)に改善する見通し。

II. 外交

1. カナダ首相がコロンビアを初めて訪問

- 7月16日、カナダのハーパー首相がコロンビアを訪問した。カナダの首相がコロンビアを訪問したのは今回が初めて。
- ハーパー首相は、ウリベ大統領のゲリラ和平交渉や経済発展への努力を評価した上で、投資や貿易に於ける両国間の協力と、ウリベ政権に対する全面的な支援を約束した。
- カナダは今後、コロンビアと二重関税の撤廃や、FTAについて交渉を開始する予定。カナダは既に中米諸国とFTA交渉に入っており、ペルーとの交渉も始まっている。
- ハーパー首相はコロンビア訪問後、チリ、ハイチなども訪問している。

III. 石油その他の資源セクター

1. ShellがコロンビアでE&P事業を再開

- 7月17日、Ecopetrolは石油メジャーのShellと契約を結び、Llanos(ジャノ地域)Castilla油田周辺に位置するCano Sur 鉱区(約65万ha)を共同探鉱する旨発表した。本契約はANH(炭化水素庁)に承認され、各社がそれぞれ50%の権益を所有することで合意。2008年第1四半期より探鉱を開始する計画。

¹ 公務員人件費、移転支出、一般管理費、商業運営費など

- Shell は過去コロンビアで石油の探鉱、生産を行っていたが、2005 年に給油所をすべてブラジルの Petrobras に売却し、コロンビアにおける事業から撤退していた。他の大手石油メジャー各社(BP、Exxon Mobil、Chevron)は既にコロンビアで事業を展開している。

以上

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。